

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 13 日

Table with columns for 事務事業名, 主要地方道石岡筑西線整備促進期成同盟会参画事業, 事業区分, 担当, 政策体系上の位置付け, 総合計画の施策名, 0503 道路網の整備, 政策名, 05 快適な暮らしのまちづくり, 施策名, 03 道路網の整備, 手段名, 03 ③国道・県道の整備促進, 財務会計上の位置付け, 事業期間, 予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 細, 一般会計, 土木総務事業, 法令根拠, 主要地方道石岡筑西線整備促進期成同盟会規約

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the project area (Itoya area), objectives, and implementation schedule.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), 単位, 28年度 (実績), 29年度 (実績), 30年度 (計画), 31年度 (目標), 32年度 (目標). Rows include 幹事会・総会回数, 負担金額, ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標).

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with columns for 投入量 (事業費) and 期間限定総投入量. Rows include 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計(B), トータルコスト(A)+(B).

Table with columns for 事業費の内訳. Rows include 19 負担金補助及び交付金, 26, and 合計 26.

Table with 4 columns: (4) 当該年度の実施内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容, 32年度の事業内容. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	主要地方道石岡筑西線整備促進期成同盟会参画事	事務事業No.	50303000364	所属課	建設課
-------	------------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

主要地方道石岡筑西線の改良整備について、早期実現を図ることを目的として事業開始(平成元年11月29日設立)事業開始後、上曽峠のトンネル化が計画され、平成13年度より茨城県事業110億円(桜川市5億円、石岡市5億円)で取付道路等の整備を着手したが、用地取得の難航、公共事業を取り巻く厳しい環境の中、平成26年度にトンネル本体工事の早期着手に向け県知事等に要望し、新たな整備手法の提案を受けた。平成27年度は石岡市との勉強会を発足させ、新手法の可能性について勉強した。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

住民・議会より仮称「上曽峠トンネル工事」に対し合併特例債を活用して早期着手を図ることを強く要望されている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	財源確保などを目的とした県、国等への働きかけにより道路の整備促進を図ることとなり結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	関係市で組織する協議会なので参画することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	今後も整備促進に結び要望活動が必要であるが財政事情により向上の余地がない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	整備促進の停滞になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	定期負担金により運営されている組織であり削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	同盟会の参画事業であり受益者負担になじまない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨ 上曽トンネル本体工事の早期着手をめざしなか、6月第2回定例会において、合併特例債を活用し事業の早期完成を求める決議案が提出・可決された。29年2月に事業の新たな手法着手を目指すため「合併市町村幹線道路支援事業」について知事に要望活動をした。3月第1回定例会前の常任委員会・全員協議会において事業手法の変更について報告をした。																								
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>